

交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。

***各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。**

本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：University of Gothenburg

留学先での所属学部・研究科：Business

留学先での在籍身分：Bachelor

留学期間：2017年 8月－2018年 6月

神戸大学での所属学部・研究科： 経営学部

学年（出発時）：4

本報告書記入日：2018年 9月 27日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 8月 29日

学年終了月日： 6月 4日

学期：

- ① 8月 29日～10月 31日
- ② 11月 1日～1月 15日
- ③ 1月 16日～3月 22日
- ④ 3月 23日～ 6月 4日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

スウェーデン、北欧で注目を集めているのは **Sustainability** です。スーパーを始め、様々なところで環境に配慮した商品が注目を集め、支持されています。そのため、現地の学生の間では **Sustainability** のコースが人気がありました。留学生の間ではやはり、社会制度について興味を持っている生徒が多く、それに関連したコースが人気がありました。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的にグループワークが多く、1週間に1度のペースでグループごとにレポートを提出するという授業が多かったです。その度に評価点が発表され、その点数と最後の4時間ほどのテストで成績が決まりました。中にはレポートに追加して、プレゼンテーションのある授業もあったので厳しかったです。クラスのサイズは授業によりませんが20人前後から150人前後でした。現地の学生は非常に真面目で、英語力も高く、優しい学生達でした。

1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Financial History	Oskar Broberg	12	7.5	24	Reading 課題の量が膨大なので、授業がある日はもちろん、ない日も図書館に通うことになります。また、馴染みのないヨーロッパの金融の歴史にも触れるので理解するのにも時間がかかります。
2	Marketing Trends	Benjamin Hartmann	12	7.5	60	毎週グループでレポート提出があるので、グループワークをほぼ毎日する必要があります。また、クリエイティブなアイデアを求められます。
3	the Swedish Model in the Labour Market	Åke Kihlström	8	7.5	70	最後にグループプレセントレポートがありますが、それ以外は講義形式の授業でした。
4	The Swedish Model and Equality: Family Policy and Gender Relations	Ann Ighe	12	7.5	60	毎週個人レポートの提出、絶対参加のセミナーがありました。セミナーに行くことができなかった場合は追加レポートを提出する必要がありました。
5	Corporate Sustainability	Conny Overland	6	15	47	私ともう一人以外は全員スウェーデン人の生徒でした。2週間に一回ほど、グループでレポート、プレゼンがあり、質問するグループも同時に決められていたため、勉強量の多い授業でした。
6	Economic Geography of the Nordic Countries	Martin Henning	4	7.5	28	北欧諸国の歴史、地形的な特徴、発展してきた産業などを勉強しました。グループのプレゼンテーションが2回ありました。
7	international Economics and Financial Markets	Charles Nadeau	6	7.5	100	アメリカ人の気さくな教授が本格的な theory を中心に経済、ファイナンスについて講義しました。グループワークなどはありませんでしたが、授業自体は質問がたくさん出るなど、質の高いものでした。
8						
9						
10						

1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

英語が母国語ではないですが、みんな英語でコミュニケーションができるのでその点に関して心配は要りません。また、日本人のスタッフも一人いらっしやるので何か相談があれば日本語ですることができ、とても心強かったです。スウェーデン語の授業も無料で受けることができたので、勉強することができました。

勉学面でのサポート：

教授は質問などにきちんと対応してくれて、質の高い授業を受けることができました。図書館も24時間ではありませんが空いている時間も十分で、高い教科書も全て買う必要がなかったので助かりました。

精神面でのサポート：

留学生の履修を管理してくれる部署に日本人のスタッフの方がいらっしやったので、心強かったです。やはり冬になると日照時間の関係で気分が落ち込む生徒が多かったですが、色々アドバイスをいただくことができました。

住居・生活面でのサポート：

大学が提携する寮に入ることができ、とても快適に過ごすことができました。日本人は全員、大学が提携する寮に入ることができていましたが、ヨーロッパの生徒の中には入ることができない生徒もいました。また、初日には空港まで迎えにきてくれるサービスがあったので便利でした。

課外活動のサポート：

Student Union が色々なイベントを企画してくれたので、友達を作りやすい環境でした。

1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

学校が提携している寮に入ることができれば、何も問題ないと思います。スウェーデンはインフラが整っているので日本と同じ感覚で大丈夫です。ただ、寮に入れなかった場合は自力で探すことになるので、難しいと思います。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

神戸大学指定の保険と留学先大学の保険に入りました。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

留学先の大学の保険に入りました。

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

日本からWi-Fiを使うための機器を買って行きましたが、現地で買う友達がほとんどでした。

大学でのPCの使用の可否：使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。
大学のパソコンは英語かスウェーデン語の操作でした。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。
通っていません。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。
冬は日照時間が短いため、気分が落ちます。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。
(現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等)
現地で講座を開設することはできなかったため、キャッシングができるクレジットカードを持って行きました。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。
とてもシャイな人が多いので、初めは戸惑いました。お店のスタッフはとても愛想がよく、いつも挨拶をしてくれました。また、健康をすごく意識しているので、ジムがたくさんありました。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。
大学外では、自分が専攻している分野で働いている人によくお話を聞いていました。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。
していません。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)
とても気さくで優しいひとが多かったように感じます。また、差別なども感じたことがなく、とても住みやすい町でした。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

ボストンキャリアフォーラム、ロンドンキャリアフォーラムに行きました。

4. 経費について

4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)

航空運賃：

住居費（月額×留学月数）：80,000×12

食費（月額×留学月数）：20,000×12

保険料：80,000

その他：旅行代 50万円

計： 約1,200,000円（留学期間全体の費用）

4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) JASSO , 80,000円/月

その他（渡航費等の支給） 0円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

スウェーデン大使館のツイッター

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

化粧水

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 点→帰国後（ ） 点

語学力に関してはテストを受けていないので具体的なことはわかりませんが、意思の疎通は問題なくできるようになったと思います。留学したことによって得られたことは、日本とは全く違うキャリア、生活に関する新しい考え方だと思います。スウェーデンは生涯教育のため、何歳でも大学に無料で入り直すことができる制度があり、これのおかげで自由に学ぶことができます。また、大学入学前に GAPYEAR という、好きなことをしたり、見つけたりするために仕事をしたり、海外に旅行に行ったりする習慣があり、本当にやりたいこと、勉強したいことを自分自身と向き合っていることができる機会があります。このような自由な環境で学んでいる学生や国民の方々の話を聞いていると、自分の可能性についてポジティブに考えることができるようになりました。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

財布を旅行中にすられたこと。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

前に留学先に行った方々のアドバイスや、授業に関するコメントをオンライン上で見ることができたら、もっと効率的に準備ができるのではないかと思います。他大学ではオンライン上でそういった資料を確認することができていたので、良いシステムだなと感じていました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

もちろん薦めます。交換留学なので金銭的な負担が少ないことはもちろん、神戸大学と同等、もしくはもっとレベルが高い生徒とともに学ぶ一年間はとても貴重な時間だと考えます。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 5
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 5
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 5

5-8. その他 自由に記入してください。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。
(デジタル画像でお願いします。)



6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。）

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料にすることに同意しない場合であっても、あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい

いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

6-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料にすることに同意しますか。

はい

いいえ

6-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい

いいえ

- 6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）
*ご協力いただける場合、後日、留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい

いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。
本報告書の提出先は以下のとおりです。**原則として e-mail で提出してください。**もし、e-mail を使用できない場合は、郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1
bkyomu@b.kobe-u.ac.jp